

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
総合実習 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	川口 貴弘			実務経験	有	職種	アートディレクター／グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
アートディレクター&グラフィックデザイナー。美術大学、芸術大学院を卒業。MFA（Master of Fine Arts）修士号を取得。実務経験 20 年以上。デザイン思考とアート思考を用いて、DesignとArtの領域を横断しながら、様々な問題の解決に取り組んでいる。											
授業概要											
毎週 1 課題を制作し、翌週に講評を行う。また、プレゼンテーションの機会も設け、制作意図を発表することも行う。											
到達目標											
感覚訓練を通して、構成の「点」「線」「面」3つの要素への理解と、色の三属性（「明度」「彩度」「色相」）への理解も同時に深めていく。 また、他者と自分の作品を比較検討することにより、多様な価値観と表現の可能性に気づく機会を増やしていく。											
授業方法											
本講義では、グラフィックデザインの基礎課程における構成力を養う。与えられたテーマから連想し、表現の可能性に気づくことを目的とする。 幾何学・抽象的な造形、平面構成のデザイン基礎表現技法を実習する。											
成績評価方法											
課題完成度 60% 提出課題完成度を総合的に評価する 途中経過 20% 発表する内容を考慮する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考資料等は、授業開始前または授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	授業ガイダンス										
第2回	平面構成①「粗密」をモチーフに構成する										
第3回	平面構成①「粗密」講評／平面構成②「動詞」を幾何形体（菱形）を用いて構成する										
第4回	平面構成②「動詞」講評／平面構成③「熟語」を直線を用いて構成する										
第5回	平面構成③「熟語」講評／平面構成④「感情 1」を構成する										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
総合実習 1	
第6回	平面構成④「感情 1」講評／平面構成⑤「感情 2」を明朝体・ゴシック体を用いて構成する
第7回	平面構成⑤「感情 2」講評／平面構成⑥「感情 3」を明朝体・ゴシック体を用いて構成する
第8回	平面構成⑥「感情 3」講評／平面構成⑦「切り絵 1」
第9回	平面構成⑦「切り絵 1」講評／平面構成⑧「切り絵 2」
第10回	平面構成⑧「切り絵 2」講評／平面構成⑨「切り絵 3」
第11回	平面構成⑨「切り絵 3」講評／平面構成⑩ タイポグラフィー 1
第12回	平面構成⑩ タイポグラフィー 1 講評／平面構成⑪ タイポグラフィー 2
第13回	平面構成⑪ タイポグラフィー 2 講評／平面構成⑬ タイポグラフィー 3
第14回	平面構成⑬ タイポグラフィー 3 講評／平面構成⑭「自分自身」を表現する
第15回	平面構成⑭ 最終プレゼンテーション／総評